



しばた いさお 柴田 勇雄議員

Q マイマイガの防除対策の強化を A 卵塊除去を一斉作業で

Q テレビ組合への説明会を行う

町長 テレビ共同受信施設組合等へ受信環境等の状況説明を行います。今後数回にわたり整備手法、事業費住民負担、整備後の運営主体など地域情報化基盤のあり方について、住民の皆さんと一緒に協議していきます。また、この事業を効率かつ効果的に行うため、基盤整備工

として一体的に発注することとしており、電気通信技術に精通した複数業者による指名競争入札により執行する予定です。
Q 一年を振り返っての所感と今後の課題は
議員 町長就任から一年の所感と今後の町政運営の課題についてどのように考えているか。

A 全力で対処し最善を尽くす

町長 どの課題に対しても、真剣に全力で向き合い、最善を尽くしてきました。今後も信念を持って不断の努力を積み重ね解決策を見いだし、町民の方々が住み続けたいと思える町、誇りを持てる町としての山村モデルの創造、夢を実現する町政に全力で取り組んでいきます。



テレビは大切な生活の一部

Q 地域情報化基盤整備どう進めるのか

議員 地域情報化基盤整備事業の進捗状況、全世界へのデジタル放送受信環境及び住民負担のあり方、整備後の運営主体はどうするのか。
また、事業の発注方法と町内業者の参入見込みはどのように考えているのか。

議員 市町村合併の基本的考えと、岩手県市町村合併推進審議会が示している枠組みについて町長の考えは。
町長 県の合併構想で示された「八幡平市・岩手町・葛巻町」の枠組みは、関係市町の状況から見ても、相手が定まらない状況にあるものと認識しています。私は、自立の町づくりを目指すことを公約としましたが、現在でもこの考えに変わりはありません。しかしながら、今後国の自治体に関する制度や情勢が大きく変化し、自立が難しいと判断されるようなことがあれば、町民にとって



野球場照明灯の卵塊跡



はしば せいこう 橋場清廣議員

Q 市町村合併基本的な考えは

A 自立の町づくりを目指す

葛巻町を含む枠組み



県が示す合併枠組み図

Q 住民アンケート実施する考えは

議員 合併新法の期限まで約1年半、合併か単独かを改めて情報公開し住民アンケートを実施する考えはないか。
町長 合併新法の期限内にアンケート調査を実施することは想定

A 想定していないが懇談会で意向把握

している。また、今後の情勢によっては、合併新法の期限にこだわることなく、アンケートなど、町民の意向を確認する手法を考えていく必要も出てくることを否定するものではありません。

Q 合併協議会設置知事の勧告は

議員 知事が合併協議会設置を勧告できるとされているが、どのように認識しているか。
A 県に回答している勧告すべきでない

町長 岩手県合併推進協議会で実施したアンケートでは「勧告すべきではない」と回答しておりますが、勧告があった場合は、法律の規定に沿って手続きを進めるものであり、30日以内に、議会に設置議案を付議することと認識しています。